

公益社団法人松阪青年会議所

2022年度 基本方針

人財開発室室長 大藪綾治

担当委員会 指導力開発委員会
青少年開発委員会

《基本方針》

社会全体が大きく変化し、これまでの経験や常識が通用しない時代を生き抜くためには、組織やリーダーの在り方を再定義する必要がある。一般的に多くの方が想像する従来の支配型リーダーが当たり前とされた時代では、競争社会で勝ち続けるために地位やスキルが重要視され、強い統率力でチームを牽引することがマネジメントであると考えられていた。しかしながら、日々刻々と変化する環境の中で、スピード感をもって組織が提供するサービスの品質を向上させるためには、多様な人財を受け入れ活躍させる環境をつくることのできる支援型リーダーへのシフトが求められている。

このようにリーダーの在り方は社会構造とともに変化し続けるものだが、どのような変化が起ころうとも問題発見力と課題解決力を磨き続けることがリーダーたるものの責務であることは変わらない。特に問題が複雑化している今の社会では、常に課題意識と柔軟な発想を持ちながら、あらゆる能力を駆使して答えのない問題でさえも解決方法を導き出す力が必要である。そして、課題解決に向かいチームを巻き込みながら物事を進めることができる人財こそが重宝される。

このような人財を育むには、社会人に対してのアプローチだけではなく、青少年期教育の在り方にも言及せざるを得ない。もちろん、家庭や学校で学ぶ基礎人間力や基礎学力は必須であるが、知識を蓄積するだけではなく、様々な情報を如何に自分のものとして扱うことができるかが一つのポイントとなるだろう。私たち青年会議所はその思考を転換させる機会を提供すること、また、子育て世代と協同して子供たちを育成することが使命である。そして、自由な意思のもと他者との関わり方を学び、多様性を理解することから共助の精神が芽生えるものであると考える。